



2026年5月14日

各 位

会 社 名 LINE ヤ フ ー 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 出澤 剛
(コード：4689 東証プライム)
問 い 合 わ せ 先 上 級 執 行 役 員 CFO 坂 上 亮 介
(電話：03-6779-4900)

カカコム株式会社の資本政策に関する提案書の提出についてのお知らせ

当社は、カカコム株式会社（以下「カカコム社」といいます。）が2026年5月12日付で開示・公表した「Kamgras 1 株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」（以下「本賛同意向表明プレスリリース」といいます。）において言及されているとおり、ベインキャピタル・プライベート・エクイティ・LP が投資助言を行う投資ファンドおよびそのグループ（以下、当社と併せて「当社ら」といいます。）と共同して、同年5月7日付でカカコム社に対し、同社の非公開化を含む資本政策に関する提案書（以下「本提案書（5月7日付）」といいます。）を提出しております。また、本賛同意向表明プレスリリースを受け、当社らは、同年5月13日付で、カカコム社に対して、改めて資本政策に関する提案書（以下「本提案書（5月13日付）」といい、本提案書（5月7日付）と総称して「本提案書」といいます。）を提出したことをお知らせいたします。

当社は、日頃より様々な経営戦略上の可能性について検討しておりますが、戦略的な M&A は重要な成長戦略の一つと位置付けております。その中で、生成AIの台頭に伴う変革期においてカカコム社が展開する事業および同社が保有する「圧倒的なデータ」と「高頻度なCV接点」は極めて高い戦略的価値を有するとともに当社との協働により次世代のスケールと収益モデルを創出することが可能と考えており、これらを通じたシナジー創出等を目的に、現時点での当社らのカカコム社の資本政策に関する初期的な意向をカカコム社に提示いたしました。なお、別途法的に有効な書面による合意等がなされない限り、本提案書は法的拘束力を有しないものとなっております。

本提案書において、当社らは、カカコム社の株式および新株予約権を対象とした現金対価の公開買付け、ならびにその後のスクイーズアウト手続きにより、同社株式のすべてを取得し、同社株式を非公開化することを提案しております（なお、公開買付け開始の主な前提条件として同種の取引において通常想定される一般的な内容を付記させていただいております。）。そして、本提案書（5月7日付）では公開情報を前提として初期的に当社らが想定する公開買付価格を1株3,000円としておりましたが、本提案書（5月13日付）において、Kamgras 1 株式会社が2026年5月13日に提出をした公開買付届出書にて示されたカカコム社の株式に係る非公開化のためのストラクチャーと同様の想定ストラクチャーの精査を前提に想定公開買付価格を1株3,232円とした再提案を行っております（なお、最終的なストラクチャーや提案価格はデュー・ディリジェンスを踏まえて改めて提案させていただくこととなります。）。

当社は、今後も当社らおよびカカコム社の企業価値向上の最大化を念頭に検討および対話を深め、本提案書において想定されるストラクチャーや事業シナジー創出の実現可能性の精査等、様々な可能性の検討を引き続き進めてまいります。

今後、開示すべき事項が決定した場合には、速やかに公表いたします。

以上